

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 27日

鹿児島市長 下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 鹿児島県鹿児島市武二丁目4番1号

氏 名 株式会社 渡辺組

代表取締役 渡辺 丈

電話番号 099-286-0800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 渡辺組
事業場の所在地	鹿児島県鹿児島市武二丁目4番1号
計画期間	令和 7年4月1日から令和 8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類；建設業 中分類；総合工事業 小分類；一般土木建築工事業
②事業の規模	前期完成工事高 140億
③従業員数	従業員 142人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 産業廃棄物処理手順

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2 産業廃棄物に係る管理体制			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	排 出 量	別紙内訳書【A】	t
	(これまでに実施した取組)		
紙くず : 現場に持ち込む資材等の梱包を極力減らす様にして産廃の発生を減量している。			
金属くず : 分別収集し有価物とすることで建設混合廃棄物としての産廃の減量を行っている。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	排 出 量	別紙内訳書【B】	t
	(今後実施する予定の取組)		
引き続き関係者に協力を依頼し、産業廃棄物の発生抑制に努める。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	分別している種類 ; 金属くず、木くず、紙くず、コンクリートがら アスファルトがら、石膏ボード、繊維くず、廃プラ		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	現状の分別を推進し、可能なもののリサイクルに努める。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙内訳書【C】	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙内訳書【D】	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙内訳書【E】 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙内訳書【F】 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙内訳書【G】 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙内訳書【H】 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙内訳書【I】 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙内訳書【J】 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	全処理委託量	別紙内訳書【K】 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙内訳書【L】 t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙内訳書【M】 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙内訳書【N】 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙内訳書【O】 t	t
	(これまでに実施した取組) 分別を推進し、産業廃棄物の発生量を抑制すると共に、発生利用処理業者及び優良認定処理業者への処理委託を検討した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	全処理委託量	別紙内訳書【P】 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙内訳書【Q】 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙内訳書【R】 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙内訳書【S】 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙内訳書【T】 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>分別収集、発生量の抑制を関係者と推進していくと共に、産廃処理業者についても優良認定処理業者や再生利用処理を行う業者を見ながら、優先的に委託業者として選定していくように考慮していきたい。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物処理手順

1. 処理計画

産業廃棄物の処理方策

排出抑制・減量化対策	<ul style="list-style-type: none">・ISO14001 の取得により、廃棄物の削減と分別収集によるリサイクル推進を行う。・施工計画段階において、廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材等を採用する。
分別対策	<ul style="list-style-type: none">・分別収集作業手順を検討する。・リサイクルを図るため、作業所内での分別を推進し、廃棄物が混合しないように努める。・有価資源以外は処理業者へ排出する
再生利用 (リサイクル対策)	<ul style="list-style-type: none">・コンクリート、アスファルト、木材、石膏ボード等は再生処理業者へ排出する。・作業所内では、資材を繰り返し使用する。・自らも再生資源を積極的に使用する。

2. 産業廃棄物の処理

(1) 収集運搬

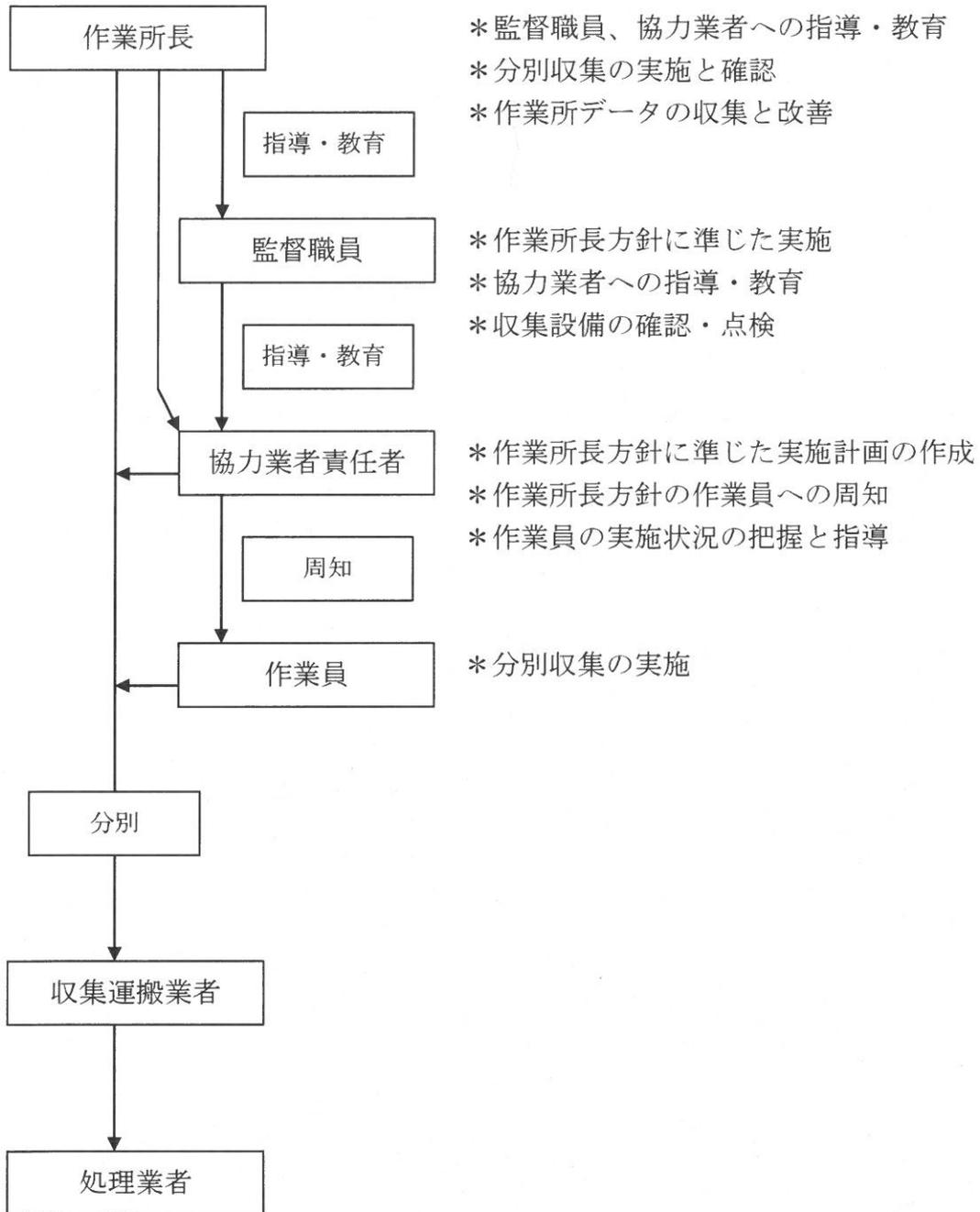
委託しようとする収集・運搬業者については、許可証の写しを受け取り下記の確認を行い、契約を交える。

- 1) 収集・運搬だけか、処分もできるか
- 2) 産業廃棄物の種類
- 3) 収集・運搬能力
- 4) 許可条件
- 5) 許可期限

委託した業者がとりにきているかどうか、許可証の写し、運搬車両の登録番号で確認する。

別添2 産業廃棄物に係る管理体制

作業所組織図



産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

(お願い:2種類までは計画書に記載することができますが、業計の都合上、なるべくこの表をご使用ください)

数字 (t)

廃棄物の排出の抑制に関する事項		がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コン	紙くず	汚泥	建設混合廃棄物	繊維くず	合計
産業廃棄物の再生利用に関する事項									(※)		
①現状(前年度実績)	排出量[A]	3,220.8	140.0	50.1	12.7	167.2	12.1	425.6	89.0	1.1	4,118.6
②計画(今年度目標)	排出量[B]	3,188.0	138.0	49.0	12.5	165.0	12.0	421.0	88.0	1.0	4,074.5
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
①現状(前年度実績)	自ら再生利用を行った量[C]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(今年度目標)	自ら再生利用を行う量[D]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状(前年度実績)	自ら熱回収を行った量[E]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する量[F]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(今年度目標)	自ら熱回収を行った量[G]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する量[H]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項											
①現状(前年度実績)	自ら埋立処分を行った量[I]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(今年度目標)	自ら埋立処分を行う量[J]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状(前年度実績)	全処理委託量[K]	3,220.8	140.0	50.1	12.7	167.2	12.1	425.6	89.0	1.1	4,118.6
	内訳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	優良認定処理業者へ処理を委託した量[L]										
	内訳	3,169.3	121.3	19.7	12.7	33.1	11.8	425.6	1.9	0.0	3,795.4
	再生処理業者へ処理を委託した量[M]										
	内訳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者へ処理を委託した量[N]										
	内訳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量[O]										
②計画(今年度目標)	全処理委託量[P]	3,188.0	138.0	49.0	12.5	165.0	12.0	421.0	88.0	1.0	4,074.5
	内訳	161.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	161.0
	優良認定処理業者へ処理を委託する量[Q]										
	内訳	3,200.0	122.5	19.9	12.5	33.4	11.9	421.0	2.0	0.1	3,823.3
	再生利用業者へ委託する量[R]										
	内訳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者へ処理を委託する量[S]										
	内訳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量[T]										

※ガラス・コンはガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラス・コンの項目です)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。